



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

NPO 法人日本防火技術者協会 平成 27 年度定時総会 開催予告

日時：平成 27 年 1 月 29 日 (木)
13:30~14:30 (予定)

場所：ルーテル市ヶ谷センター (予定)
(東京都新宿区市ヶ谷砂土原町 1-1
地下鉄有楽町線・南北線市ヶ谷駅下車
徒歩 1 分、JR 総武線・都営地下鉄新
宿線市ヶ谷駅下車 徒歩 7 分)
(開催場所は変更する場合があります。)

議題内容《予定》

- 1) 平成 26 年度(2014 年度)事業報告
- 2) 平成 27 年度(2015 年度)活動計画
- 3) 平成 26 年度会計報告
- 4) 平成 27 年度予算計画
- 5) 定款の改正 (新年度内の事務所を移転
予定の承認)
- 6) 役員改選結果の報告
- 7) その他 (「JAFPE 防火技術者 (CPD)」
について、他)

SFPE 性能設計シンポジウム 報告会 開催予告

日時：平成 27 年 1 月 29 日 (木)
14:30~16:30 (予定)

場所：ルーテル市ヶ谷センター (予定)
内容：11 月 10 日~12 日にオーストラ
リア、ゴールドコーストで行われた
SFPE 主催の性能基準と性能設計に
関する国際会議におけるケーススタ
ディの概要を報告します。

JAFPE 次期役員選挙のお知らせ

平成 27 年度は、特定非営利活動法人日
本防火技術者協会 (以下、「本会」という)
定款の定めに基づき、理事ならびに監事
(以下「役員」という)の改選を行うこと
となります。

本会では、平成 27 年度、平成 28 年度
の 1 期 2 年間、役員として定款に定めら
れた事業遂行に寄与され、本会の発展にご
尽力いただける正会員の方を募り、立候補
の受付を行いますので立候補を希望され
る方は下記の要領のもとに役員立候補届
を提出してください。

なお、本会の役員は、全立候補者の中
から正会員が選挙により役員候補者を選び、
その結果について総会の場で承認を得て
選任されます。

1. 役員の出選員数
(1) 理事：6 人以上 12 人以内
(2) 監事：1 人 (定款第 13 条による)
2. 立候補者の資格
正会員であること。(定款第 6 条の定め
のもとづく個人の会員)
3. 立候補の届
(1) 立候補を希望する正会員は、役員立候
補届を理事会 (事務局) に提出するこ
と。(役員立候補届は添付書類を使用
すること。)
4. 役員立候補届の受付締切
平成 26 年 12 月 18 日 (木) 午後 5 時
5. 役員選任の実施予定
(1) 役員選挙の告示
平成 26 年 12 月 24 日 (水)
(2) 投票の締め切り
平成 27 年 1 月 14 日 (水)
(電子メールによる)
なお、役員候補者が定数を越えない場
合は、選挙を行わず総会の場での承認を
得て選任されます。

6. 役員立候補届の受付
〒164-0001 東京都中野区中野
5 丁目 66 番 4 号 中野 SHK ビル
特定非営利活動法人日本防火技術者協会
電話番号 : 03-5380-1860
FAX 番号 : 03-3387-5481
E-mail : info@jafpe.or.jp

日本支部 Chapter Excellence Award シルバー、 関澤理事 Arthur Guise メダル 受賞報告

このたび、SFPE 年次総会において日本
支部関連で二つの受賞が発表されました。
一つは日本支部の Chapter Excellence
Award シルバーの受賞です。毎年、その
年の支部活動が審査され、優秀な活動を行
った支部にはゴールドからブロンズまで
の賞が授与されるものです。日本支部は
2008、2011、2012 年にブロンズ賞を
受領しましたが、シルバーに選ばれたのは
初めてです。受賞の理由は資格制度を発足
させたことや、関澤先生が座長をされている
アジア地区の支部間交流活動が評価さ
れたものと思います。

米国内の支部以外で受賞したのは、サウ
ジアラビア支部のゴールド、スウェーデン、
台湾のシルバー、中国のブロンズでした。

もう一つは関澤理事の Arthur Guise メ
ダルで、SFPE の財団から授与される賞で、
特に防火の研究分野での貢献を評価して

与えられるものということだそうです。こ
の賞の過去の受賞者には、James G.
Quintiere や Richard W. Bukowski 等、
日本でも名の通った方々がおります。

これらの受賞は、協会の会員の方々の日
頃の活動の賜物です。



アジア・オセアニア火災科学技術 シンポジウム開催のお知らせ

第 10 回アジア・オセアニア火災科学技
術シンポジウム (10th Asia-Oceania
Symposium on Fire Science and
Technology) が開催されます。

- ・日時：2015 年 10 月 5 日~7 日
- ・場所：つくば国際会議場
- ・主催：アジア・オセアニア火災科学技
術学会 (Asia-Oceania Association for
Fire Science and Technology)
- ・オーガナイザー：建築研究所、消防研
究センター、東京理科大学
- ・投稿スケジュール
(論文発表)
2014 年 12 月 31 日 論文投稿期限
2015 年 4 月 1 日 論文審査結果通知
2015 年 5 月 31 日 最終版の提出期限
(ポスター発表)
2015 年 4 月 30 日 アブストラクト
(1 ページ) 締切

<http://aosfst2015.com>

SFPE「防火の性能設計における 国際会議」参加報告

11 月 10 日から 12 日まで、オースト
ラリア、ゴールドコーストで第 10 回性能
規定と性能設計に関する国際会議が開催
されました。東京会会員の文化庁の梅津さ
んが文化財防災に関して招待講演を行っ
たのと、JAFPE 日本支部として WG を設
けて準備し、ケーススタディに参加しまし
た。

今年のケーススタディのテーマは雁行
する吹き抜け空間を持つオフィスビルで、
クライアントのニーズとして吹き抜け周
りの区画をできるだけなくしたいという



ものでした。

参加したのは9か国で、年々徐々に増加しています。

日本の案は、FDSによる煙の降下の検証とシムトレッドによる避難シミュレーションを軸に、避難、煙制御、延焼防止、消防活動支援についてバランスよくまとめたもので、高い評価を受けました。

他国案も履行する吹き抜けということでもFDSによる煙の時刻歴の変化を追うものがほとんどでしたが、採用した防火対策はお国柄や安全に対する考え方の違いもあり、かなり相違がありました。総じて日本の案は他国に比べて手堅いという印象を受けました。

なお、この内容は1月29日のJAFPE定時総会に続くシンポジウムで報告いたします。

見学会「サウスウッド(耐火木造の大型商業施設)」、「旧露亜銀行横浜支店(ラ・バンク・ド・ロア)」開催報告

2014年10月24日(金)に見学会を開催しました。

- ①サウスウッド 14:30-15:00
- ②旧露亜銀行横浜支店 16:00-17:00



JAFPE 防火技術者認定証発行の報告

平成26年1月と3月にJAFPE防火技術者として認定された42名の方に携帯型認定証を、12月に発行しました。



(見本)

高齢者避難 WG 報告

高齢者避難 WG では、9月12日から14日に神戸大学にて開催された日本建築学会大会に最近の研究結果を4編発表しました。あわせて2014年度日本建築学会教育賞(教育貢献)受賞記念講演をWG主査佐藤が代表にて15分行いました。

また、上記建築学会に参加した本WGメンバーによって9月14日及び15日に神戸市の高齢者福祉施設においてそれぞれ出前講座を実施しました。14日には六甲アイランドの同じ法人による2箇所の特別養護老人ホーム(協同の苑)を訪問し、施設関係者と意見交換を行いました。さらに施設にとって敬者の日で忙しい15日に、特別養護老人ホーム須磨シニアコミュニティ(定員80名、8ユニットの施設)を訪ね、午前中には当該施設の施設長・火管理者や設計者と意見交換し、午後には施設職員が行事で多忙の中18名も参加し、3つのテーブルに分かれて火災図上演習(FIG)を行いました。設計者から設計ガイドラインが欲しいなどの要望を受けました。偶然にも、この設計者が前日訪問した施設のうち、サテライトとして最近建設したものの設計者でもあったというサプライズがありました。

11月6日は、名古屋市で名古屋市書局および名古屋市老人福祉施設協議会の協力を得て、名古屋市消防局昭和消防署の会議室にて施設関係者43名、消防関係者20名の参加による防火研修会を実施しました。内容は、本WGの活動概要としての夜間避難を上手くいかせるための戦略について佐藤が、火災図上演習の方法について大西がそれぞれ講演し、その後6チーム(1チームは消防職員に分かれてFIGを体験していただきました。消防職員のFIGに参加は今回が初めての試みで、施設職員とは異なった意見や参考となる意見がいくつか出ており、消防職員用には別途FIG改良版の工夫が必要と感じました。

なお、神戸開催の出前講座では神戸大西先生、名古屋開催の防火研修会では愛知工業大建部先生、日本福祉大村井先生のご尽力を得ました。ありがとうございました。

職能WG開催報告

今年度は7回(1/14、2/13、4/2、6/9、8/25、10/22、12/12)WGを開催しました。また第1回目として42名の防火技術者認定を果たし、防火技術者カードも発行することが出来ました。現在、総会に向けてCPD制度の規定を作成中です。CPD制度は「継続職能開発」として防火技術者がその能力の維持向上、倫理や社会的責任の遂行のためにも欠かせない

ものです。各種研修や業務実績などから単位習得を構成し、効率的な運用を目指しています。総会では規定と制度や単位の概要を示す予定です。

機械排煙時扉開放障害防止 WG 活動報告

建物の気密性能の向上や空調の個別化、エレベーター扉の気密化などにより機械排煙を起動すると室が負圧になり、付室や階段室の扉が開放しづらい状況が多発しています。火災時に避難経路の扉がこのような状態になることは大変危険であり、防止策の作成が急がれます。そこで、この問題に対する技術的な解決法を検討するためのWGメンバーを公募した結果、13名の応募があり、活動を開始しました。基準や運用指針等を作成し、社会貢献につなげたいと考えています。

ルートCの標準化 WG 活動報告

高度な手法を用いた性能評価(ルートC)の円滑な運用を目指し、現状の課題の整理(運用的側面、技術的側面、その他)した上で、より好ましい性能評価を行うための具体的な方法として、①運用ガイドラインの作成、②避難開始時間等の標準的な計算法の検討などを提案、実施することを目的としています。2012年5月から月1回のペースで、これまでに計31回WGを開催し検討を重ねています。

エレベーター避難エスカレーター避難検討 WG 活動報告

エレベーター、エスカレーターの避難利用の促進を目的としたワーキンググループを設置しました。大学、消防、建設、不動産、防災コンサル、防災機器メーカーなど広範囲のメンバーで構成され、超高層事務所ビルからの乗用・非常用エレベーターを利用した全館避難について検討を重ねています。

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。
7月1日(火)、8月26日(火)、10月17日(金)、11月28日(金)

会員情報

会 員 142名



賛助会員 8名
 学生会員 1名
 新入会会員
 岡澤尚美〔消防庁〕
 佐々木克憲〔応用地質(株)〕
 佐々島 暁〔(株)日本防災研究所〕
 中屋成人〔(株)関西建築防災研究所〕
 広田正之〔清水建設(株)〕
 村岡 宏〔(株)大林組〕
 森山 博〔(株)関西建築防災研究所〕
 新入会賛助会員
 森ビル株式会社
 敬称を省略させていただきます
 (2014年12月現在)



SFPE 日本支部
2014年度定時総会 開催予告

日時：平成27年1月29日(木)
 14:00~14:30
 場所：ルーテル市ヶ谷センター(予定)
 議題内容《予定》
 1) 2014年度事業報告
 2) 2015年度活動計画
 3) その他

Fire Technology

Volume 50, Issue 5, Sep.2014

■ International Comparison of Fire Department Injuries : Jeffrey L. Burgess, Michael Duncan, Joshua Mallett, Bonnie LaFleur
 ■ Development of Best Practice Standard Operating Procedures for Prevention of Fireground Injuries : Michael D. Duncan, Sally R. Littau, Margaret Kurzius-Spencer
 ■ Predicting Protective Factors of Physical and Mental Health for Survivors of Residential Fire : Christopher S. Immel, Russell T. Jones, Andrew J. Smith
 ■ Typification of Fires in Buildings in Spain : Pablo Boj-García, Juan Carlos Rubio-Romero
 ■ **An Analysis of the Post-earthquake Fire Safety of Historic Buildings in Kyoto, Japan : Keisuke Himoto, Takumi Nakamura**
 ■ Assessment of Fire Risk in the

Readymade Garment Industry in Dhaka, Bangladesh : Zia Wadud, Fuad Yasin Huda, Nizam Uddin Ahmed
 ■ Fire Risk Assessment of Residential Buildings Based on Fire Statistics from China : Jing Xin, Chong Fu Huang
 ■ An Analytic Network Process Approach for Rapid Loss Assessment of High Casualty Fires in China : Mei Peng, Li Guohui, Lu Song, Zhang Heping
 ■ Influences of Time, Location, and Cause Factors on the Probability of Fire Loss in China: A Correspondence Analysis : Guohui Li, Song Lu, Peng Mei, Heping Zhang, Siuming Lo
 ■ Lifetime Cost Optimization for the Structural Fire Resistance of Concrete Slabs : Ruben Van Coile, Robby Caspeele, Luc Taerwe
 ■ High Strength Polypropylene Fibre Reinforcement Concrete at High Temperature : Farhad Aslani, Bijan Samali
 ■ Constitutive Relationships for Steel Fibre Reinforced Concrete at Elevated Temperatures : Farhad Aslani, Bijan Samali
 ■ Effect of Grade of Concrete on the Performance of Self-Compacting Concrete Beams Subjected to Elevated Temperatures : N. Anand, G. Prince Arulraj
 ■ Skin Burn Translation Model for Evaluating Hand Protection in Flash Fire Exposures : Alexander Hummel, Roger Barker, Kevin Lyons
 ■ Protective Performance of Environmentally Stressed Fabrics Containing Melamine Fiber Blends : S. Nazaré, S. Flynn, R. Davis, J. Chin
 ■ Erratum to: Theoretical and Experimental Study of Critical Velocity for Smoke Control in a Tunnel Cross-Passage : Ying Zhen Li, Bo Lei, Haukur Ingason

Fire Technology

Vol.50, Issue 6, Nov.2014

■ Optical Modeling of Fire Hazards Arising from Sunlight Focused by Water: David W. Warren
 ■ Influence of Heat on Non-Ferrous Objects: Metallurgical Analysis in Fire Scene Investigations : Marco Boniardi, Andrea Casaroli
 ■ The Importance of Autopsy and Injury

Data in the Investigation of Fires: Jamie L. McAllister, Douglas J. Carpenter, Richard J. Roby, David Purser
 ■ Characterization of Flaring and Non-Flaring Container Filled Votive Candles: Donald J. Hoffmann, Michael T. Burr, Michael J. Kroll, Laura M. Logan
 ■ The Propensity of Lit Cigarettes to Ignite Gasoline Vapors : Howard A. Marcus, Justin A. Geiman
 ■ Correlations Among Signatures for Detection of Different Types of Fires: Rajiv Kumar, M. P. Singh
 ■ Smoke Damage Potentials in Industrial Fire Applications : Jeffrey S. Newman, Geary G. Yee, Paul Su, Yibing Xin, Ning Ren
 ■ Evaluation of Navigation Sensors in Fire Smoke Environments : Joseph W. Starr, B. Y. Lattimer
 ■ Experimental Study on Gas Temperature During Fire in a Compartment with a Sloped Roof Vent : Jian Li, Changkun Chen, Bingyin Shen
 ■ Entrainment in a Free Jet Generated by a Positive Pressure Ventilator : Maria Kumm, Haukur Ingason
 ■ Experimental Study on the Use of Positive Pressure Ventilation for Fire Service Interventions in Buildings with Staircases: K. Lambert, B. Merci
 ■ Travelling Fires and the St. Lawrence Burns Project: John Gales
 ■ A Method for the Analysis of Behavioural Uncertainty in Evacuation Modelling : Enrico Ronchi, Paul A. Reneke, Richard D. Peacock
 ■ Thermal Radiation from Fire Whirls: Revised Solid Flame Model : Kuibin Zhou, Naian Liu, Linhe Zhang, Koyu Satoh
 ■ Effect of Wind on Smoldering Combustion Limits of Moist Pine Needle Beds : Juan Pablo Valdivieso, Juan de Dios Rivera
 ■ Fire Performance Assessment of a Fiber Reinforced Polymer Wall Panel Used in a Single Family Dwelling : Umberto Berardi, Brian J. Meacham, Nicholas A. Dembsey, Young-Guen You
 ■ Erratum to: A Flame Detection Synthesis Algorithm : Shidong Wang, Jian Wang, Yaping He, Jujia Zou, Baobin Duan

Fire Technologyは隔月に発行されています。なお Journal of Fire Protection Engineering は Fire Technology に統合されました。

<http://link.springer.com/journal/10694>